

**地域創生 × SDGsセミナー**  
**地域の取り組みが世界を変える**  
**～産官学民の取り組み事例を中心に～**

**基調講演**

**SDGs時代の主役は誰だ？**  
**～市民社会・企業・国家・地方自治体～**

---

**佐藤寛(アジア経済研究所)**

**2018/7/30**

**於・小倉AIM(8階KPROホール)**

# 1. アジェンダ2030

- 2015年9月国連で合意。2016年開始
- 正式名称は「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」  
*Transforming Our World: 2030 Agenda for Sustainable Development*
- 17のゴール。169の目標 (Targets)
- 開発系のゴールはMDGs (2000-2015) の後継。環境系のゴールは地球サミットの後継
- スローガンは「誰一人取り残さない」*Leaving No one Left Behind*

# SDG=(S)すっごく、(D)大胆な、 ゆびきり(G)げんまん

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

<p><b>1</b> 貧困をなくそう</p>	<p><b>2</b> 飢餓をゼロに</p>	<p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p>	<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p>	<p><b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p><b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に</p>
<p><b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p>	<p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p><b>10</b> 人や国の不平等をなくそう</p>	<p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p>	<p><b>12</b> つくる責任 つかう責任</p>
<p><b>13</b> 気候変動に具体的な対策を</p>	<p><b>14</b> 海の豊かさを守ろう</p>	<p><b>15</b> 陸の豊かさを守ろう</p>	<p><b>16</b> 平和と公正をすべての人に</p>	<p><b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p><b>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</b></p> <p>2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です</p>

# Transforming (姿を変える) Our World

# Transform という言葉

- 「我々の世界を改変する(Transform)」
- 地球環境を損なうことなく、先進国の人も途上国の人も「それなりの生活」を続けられるようにする、という大胆な目標の達成のためには**日本人自身のライフスタイルの変革も必要になる**
- これを「貧しい人のために我々の生活を犠牲にする」と捉えるか、「我々と子孫のために生活スタイルを変革する」と捉えるかで、人々の気持ちは全く違ってくるだろう
- SDGsが我々にどんな覚悟を求めているのか、考えてみよう

## 2. 誰のためのSDGs？

- MDGsは「途上国のための貧困削減」
- SDGsは「地球全体の持続可能性」
- SDGsは先進国に住む私たちにとって「他人事」ではないのよ！
- →「先進国住民一人ひとりの主体的な取り組みが求められる」と言われてもねえ…。
- 私たちが過去四半世紀慣れ親しんできた生活スタイルを続けることが出来れば、そこそこ幸せなのでは？



# 上段の目標群 (MDGs後継)

---

- **G1 地球上の全ての貧困をなくす**
  - **G2 飢餓をなくし、栄養のある食糧を確保し、持続可能な農業を推進する**
  - **G3 全ての人の、全ての年齢層における、健康と福祉を増進する**
  - **G4 包摂的で平等な教育機会を確保し、全ての人の生涯にわたる教育機会を促進する**
  - **G5 ジェンダー平等と、全ての女性と少女のエンパワーメントを達成する**
  - **G6 全ての人に水と衛生への持続可能なアクセスを確保する**
-

# 下段の目標群（リオ+20継承）

---

- **G13 気候変動とその影響に対して速やかに対応策を講じる**
- **G14 持続的開発のために、海と海洋資源の保全と持続可能な利用を行なう**
- **G15 地上の生態系の保全、再生、持続可能な利用を促進する。森林を持続的に管理し、砂漠化と戦い、保全地域の荒廃を防ぎ、生物多様性の損傷を防ぐ**

# 中段の目標群 (G7-12)

---

- G7 全ての人の手にエネルギーを
  - G8 全ての人に働き甲斐のある仕事を。包摂的で持続可能な経済成長を
  - G9 包摂的で持続可能な産業化と耐性のあるインフラを
  - G10 国内・国際的な格差是正を
  - G11 包摂的で安全で耐性があり持続可能な住まいと都市を
  - G12 持続可能な生産と消費のあり方を
-

# アジェンダ2030

## [持続可能な開発目標]

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

<p>1 貧困をなくそう</p> 	<p>2 飢餓をゼロに</p> 	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> 	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> 
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p>8 働きがいも経済成長も</p> 	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p>14 海の豊かさを守ろう</p> 	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p> 	<p>16 平和と公正をすべての人に</p> 	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> 	<p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p> <p>2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です</p>

# 中段の目標は多くのアクターの取 り組み協同がないと実現しない

- 貧困削減・援助と地球環境以外の多様な中段  
☛実はここが面白いのでは？
- 日本国内の問題とも密接に関連＝地域創  
生とも密接なつながり
- 途上国問題ではない、地球環境保全だけの  
問題ではない
- 一人一人の日本国民にとっても、日本の中  
小企業にとっても、過疎地にとっても、都市  
貧困層にとっても密接なつながりを見出しう  
るゴールたち

# 企業にとってのSDGs解釈

- 「SDGsの本質は経済成長戦略」という解釈  
→これは企業にとって都合の良い解釈
- ゴール8のロゴ訳「働きがいも経済成長も」  
→「やっぱり経済成長がないとパイの分配も出来ないし」というこれまでの理解が上書きされた印象を与える→この解釈は不適切
- **全ての人に働き甲斐のある仕事を確保できるような、包摂的で持続可能な経済成長を**
- それは「Transforming our world」と完全に矛盾する。「これまでのやり方は持続不可能」というのが世界の合意であったはず

# 3.SDGs時代の主役は誰だ？

---

- ①市民社会
- ②大企業・多国籍企業
- ③中小企業・地方企業
- ④政府
- ⑤地方自治体
- ⑥投資家
- ⑦社会的起業家(若者のベンチャー含む)
- ⑧消費者

# ①市民社会への期待

- ①環境系の市民団体は一定の発言力(環境系のシンクタンクも存在感)
- ②開発系の市民団体はMDGs以降の流れ。企業との接点は小さい(医療系は先行)。フェアトレードの試みはあり。
- ③「国内問題」関連の市民団体はSDGsに関して政府とも企業とも接点がほとんどない
- ④地域に根差した団体  
地域創生からSDGsに目覚める・・・北九州市立大、KFAW・・・広がりしろが無限

## ②大企業・多国籍企業への期待

---

- **ダボス会議に出るような多国籍企業はSDGsにコミットして当然**
- **日本でも国連グローバルコンパクトに加盟している大企業は取り組みを強化**
- **SDGsを経営資源・経営目標に取り入れる (SDG Compass: SDGsの企業行動指針)**
- **サプライチェーン・マネジメントの一環としてのリスク対策の側面もあり(環境、労働者の人権)**

## ③中小企業・地方企業への期待

- 大企業のCSR部門だけが関わっていても良い？中小企業にはそんな「余裕」はない？
- SDGsの二本柱「環境」と「開発」のうち、「環境」については、日本の中小企業も消費者も投資家も理解しやすい→中小企業も取り組むインセンティブあり
- 「開発」については、まだ一部の消費者、投資家にしか理解されていない→企業への圧力もない
- 中小企業の「国際化」にはさまざまなハードルがある……

## ④政府への期待



- 日本国政府(安倍首相自ら合意)→内閣府SDGs推進本部(2016/5, 2016/12, 2017/6, 2017/12・全閣僚)→2018年ようやく各省庁までやる気になる
- 企業の持つ資源と時間が限られている時に、公的支援によって資源を追加(補助金)し、実証実験の機会(時間)を与える
- CSRからソーシャルビジネスへの「孵化器」としてのJICA, Jetroの支援事業
- 制度的インセンティブ、土俵をならす(Level playing field)、罰則規定の明確化
- 途上国政府への働きかけ(日本の企業に有利になるように……悪用に注意！)

## ⑤地方自治体への期待

---

- 自治体は世界の共通言語であるSDGsを推進することにより、国の内外の産官学民のステークホルダーとパートナーシップを構築し、持続可能な開発に向けて一層の社会貢献を図ることができる(2017/10国際フォーラム)
- 2018/3 SDGsステークホルダー第六回会合  
SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業
- 国の補助金11.8億円 SDGsの下方展開

## ⑤地方自治体への期待(2)

- 一人一人の国民・市民に一番近い行政
- 意識啓発の推進者としての役割(ローカル・プライド)→市民社会の醸成機能
- 消費者運動、主婦運動の結節点
- 地域創生では、とびぬけた首長・リーダーが外部の「やり手」と結びついて成功する事例が多い→どこでもできるわけではない
- 国際協力との連携の成功例＝北九州、横浜
- 「一人勝ち」は持続可能ではない。Me FirstはSDGsの精神に合致しない

# ⑥投資家への期待

## 社会的責任投資(SRI)

- 倫理性・社会性のある企業に選別的に投資する社会的責任投資(SRI)という概念も生まれ、それを背景にした実際のポートフォリオが実現している。
- **ESG(環境・社会・ガバナンス)**指標を基準とした投資先選別
- 年金機構もESG投資に踏み出す
- これは、もともとグラミン銀行のようなマイクロファイナンスに限られていた「社会的投資」の裾野を広げる役割を果たしている。
- 大和証券の「ワクチン債」、社会的投資機関の誕生(ミュージック・セキュリティーズ、アルン)、社会的企業家のクラウドファンディング

# ⑦社会起業家への期待

## (ソーシャル・アントレプレナー)

- 社会的企業と社会事業(公共、非営利のニュアンス)は違う？
- 社会的+商活動、企業、起業、金儲け
- 公共的、道徳的、公益的、利他的、など「経済」ではない、「貨幣価値」では測れないものを取りあえず「社会的」と名付けている
- 世界的には地方自治体の事業を「委託」する事例も多い。地方自治体も社会起業家？
- ソーシャルビジネスとは＝社会的課題の存在を意識し、その解決に向けた貢献を、市場活動を通して行おうとする「企て」

# 社会的起業家/ソーシャルビジネス



グラミン銀行ユヌス総裁と日本ポリグル小田会長(2010.2)

## 4. まだまだ納得できないあなたへ

---



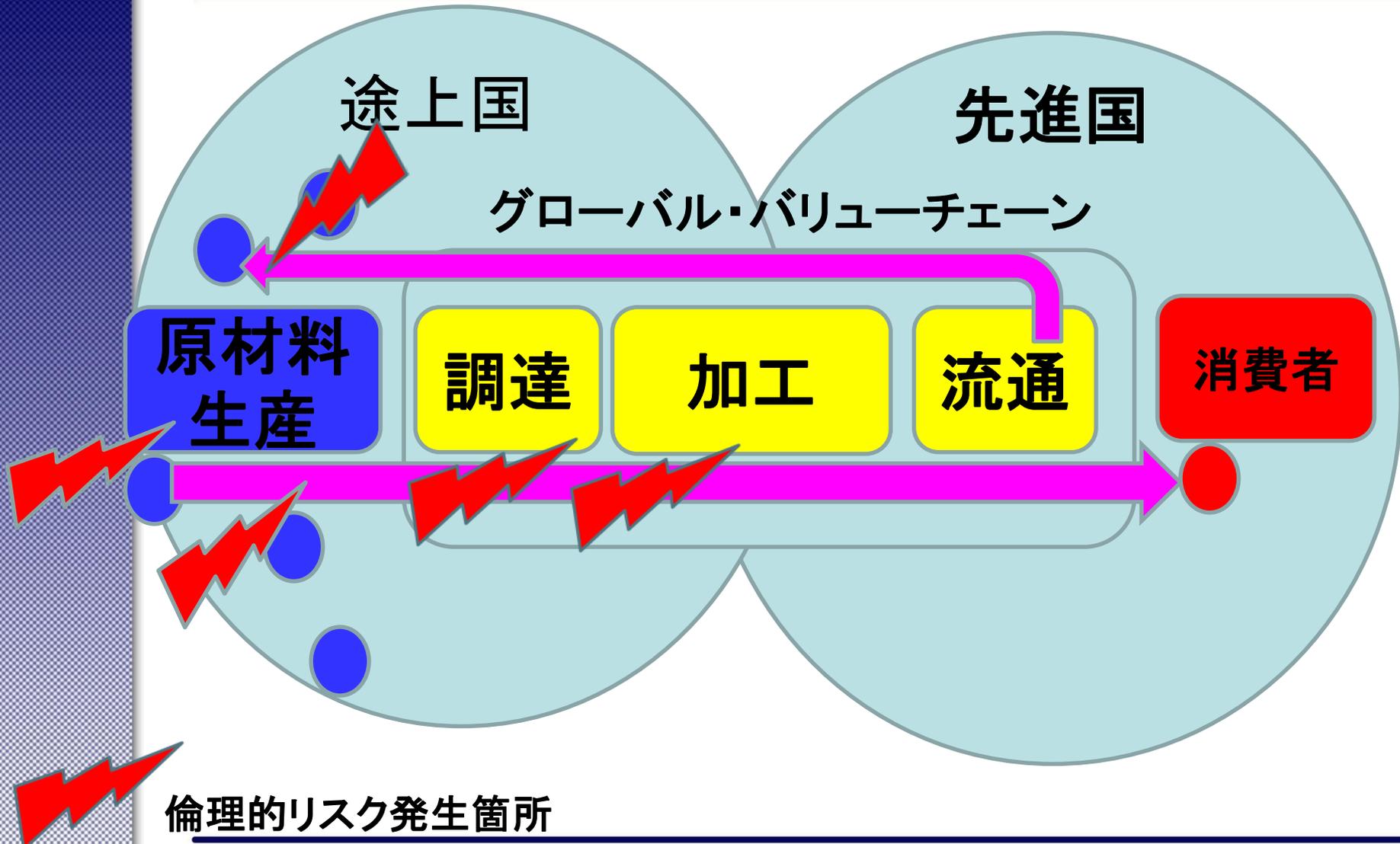
- 援助やCSRには興味がない
- 意義はわかるが社会課題なんて考えている余裕はない
- 自社が生き残っていけるかどうか  
が最大の関心事
- そんな会社も「社会課題」に取り  
組むべき理由がある→サプライチ  
ェーン・マネジメント

# サプライチェーン・マネジメント

---

- 2015エルマウ・サミット  
先進国企業は、自らの商品・サービスのサプライチェーンの全体に倫理的な責任を持つべきである=責任あるサプライチェーン
  - 環境を破壊しない、人権を侵害しない、貧困層を搾取しない、社会的弱者を差別しない・・・
  - 遵守しないことのビジネスリスク(ボイコット、インターネット上での告発など)はますます高まっている。
-

# サプライチェーンと倫理的リスク



# 消費者ボイコットの圧力

- バナナ、コーヒーについては「living wage」、チョコレートやサッカーボールでは「児童労働」に焦点を当てた倫理的消費＝SDGsのゴール8に対応
- カカオ生産に児童労働が存在することがわかれば、ヨーロッパの消費者は「ボイコット」する可能性がある。チョコレートメーカーは「児童労働のない」カカオを選択的に利用することになる。
- ブランドイメージの低下が怖い大企業は下請けにフェアな労働を要求する(アップルとFoxcon)
- ブランドイメージの向上を目指す「倫理性競争」→キヤドバリーのデイリーミルク、ネスレのキットカット

# 倫理的消費と途上国への関心

- 多国籍企業（食品企業、大手スーパー、アパレルなど）の生産・調達拠点が途上国に移行→消費者と生産者がバリューチェーン（原材料から製品になるまでの付加価値付与過程）を通して結びつく
- 商品のサプライチェーンをさかのぼり（下請けだから」という言い訳は通用しない）、搾取的な労働条件（sweat shop）、児童労働、環境汚染・環境破壊などがある商品は買いたくない。西欧でこれを「倫理的消費者」運動と呼んでいる
- 事業を継続するための、サプライチェーン・マネジメントの必要性

# 倫理的消費者運動

**Full Package Approach to Labour Codes of Conduct**  
Four major steps garment companies can take to ensure their products are made under humane conditions.

**The beauty of ethically produced rugs**

**ethical consumer**  
20 years of Ethical Consumer  
Petrol 20 years on – carbon catastrophe  
Biscuits 10 years on – sustainable snacks  
Electricity Monitors future shock

**ethical consumer**  
**Cut the Carnage**  
The brands that help tuna & marine wildlife get off the hook  
Shampoo: Is it worth it?  
Digital Cameras: Focussing on electric waste  
Mobile Phone Networks: Could do better

**PRIMARK**  
LONG HOURS, LESS PAY

"We produce the clothes you buy from Primark. We are among 2.8 million workers employed in 4,500 garment factories in Bangladesh. We live below the official poverty line. Salaries have worsened in recent years because of inflation." Skilled operators like Suma earns **less than £30 a month** – not enough to feed a family.

**WHAT DOES NO SWEAT DO?**  
We publicise and expose sweatshops, aiming to make people aware of the problem. We organise campaigning action to pressure the brands and increase awareness – we have run fashion shows in big stores and raided them as the "fashion police".

**WHAT CAN I DO?**  
Your involvement can be crucial – from emailing companies we are targeting, to joining demonstrations, to organising a meeting in your school or college, to twinning your union branch or affiliate.

**WHAT NO SWEAT WANT**  
No Sweat, like most people, like cheap clothes. We don't believe in boycotts as ordinary people in the UK shouldn't have to pay more for clothes. We want Primark's profiteering bosses to pay decent wages and stop exploiting workers by cutting their mega profits rather than pass increased production costs onto cash-strapped customers. We are here to tell Primark to guarantee that:  
 © All workers in its suppliers have safe and decent working conditions  
 © All contracted or directly employed workers earn a living wage  
 © All its workers have the right to join and organise independent unions

Wage Facts (per hour)	
Bangladeshi living wage:	30p
Average Garment Worker Wage:	7p
Living wage in London:	£7.50
Average Primark worker wage:	£6-7

Primark Facts	
Managing Director:	Arthur Ryan
Stores:	181
Employees:	27,500
Sales (2007/08):	£1.9 billion
Profit (2007/08):	£233 million
Source:	Associated British Foods Plc

UK Bangladesh  
Avg 2018/7/30

**I WANT TO GET INVOLVED**  
Name: \_\_\_\_\_ Address: \_\_\_\_\_  
Tel: \_\_\_\_\_ Email: \_\_\_\_\_  
School, college or trade union: \_\_\_\_\_

No Sweat, 5 Caledonian Road  
www.nosweat.org.uk

**TUC**  
Labour Behind the Label

Lord Sebastian Coe  
2012 Chairman  
c/o London Organising Committee of the Olympic Games  
One Churchill Place, Canary Wharf  
London E14 5LN

**LET'S MAKE LONDON 2012 A GAMES THAT WORKS FOR EVERYONE**

©satokan 2018

**Campaigning for a sweat-free Olympics 2012**

# 倫理的貿易と日本企業

---

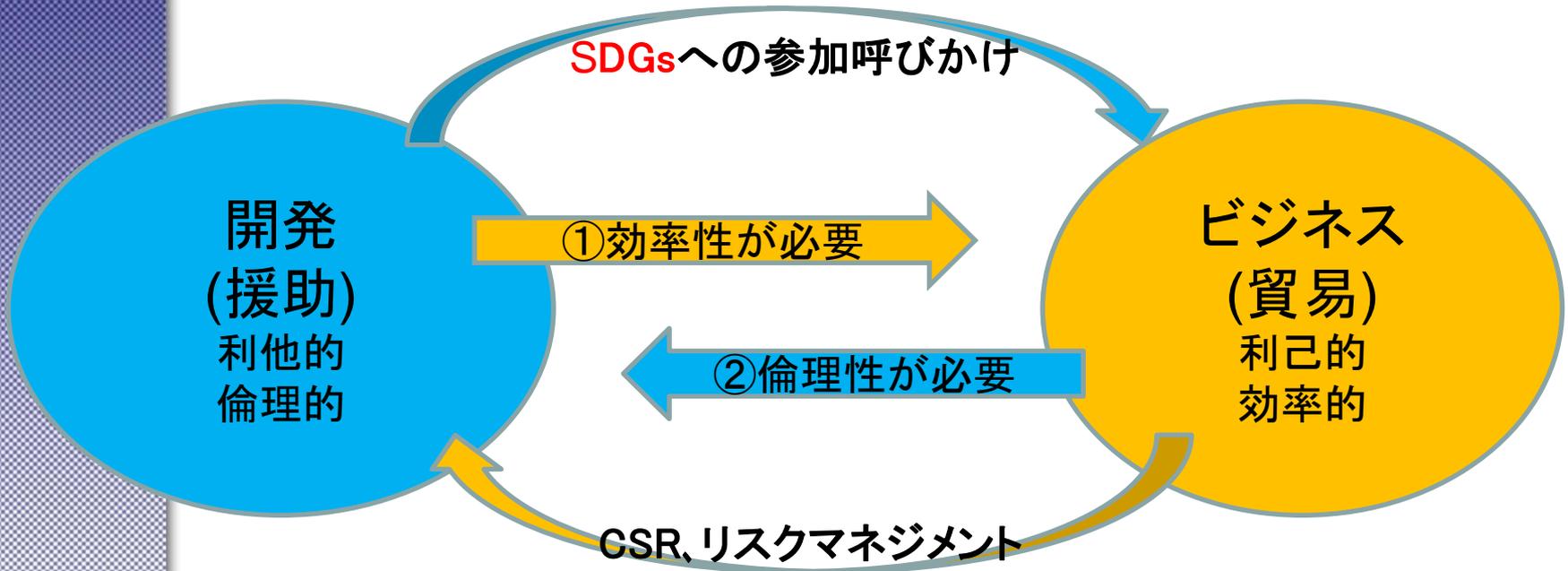
- 日本の消費者運動は現時点では「環境」「オーガニック」に力点があり、ようやく「フェアトレード」が根付き始めた段階である→企業への圧力は小さい
- グローバルに展開する日本の企業はすでに欧米でこうした「倫理的消費者」の攻撃対象となるリスクを抱えている。
- 2013年ラナプラザ崩壊事件(バングラデシュ)はこの流れを加速させている

# 5.開発とビジネスの相互接近

- 途上国(国家、社会、個人)では、経済的貧困に起因する様々な課題がある
- これを解決するためには「経済力が高まる」ことが必要←このために出来ること=**インフラ建設、産業振興、輸出増加、人材育成**
- それだけでは不十分。貧富の格差是正が必要(「誰も取り残さない」がSDGsのローガン)←このために出来ること=**社会福祉政策、公共サービスの効率的提供、NGO的活動、ソーシャルビジネス、サプライチェーン・マネジメント**

# ビジネスと開発の相互接近は SDGsを迎えて更に進んでいる

- ①開発にビジネスの視点を!
- ②ビジネスに社会的責任／倫理性を!



## 6. 私たちにとってのSDGs

- 「これまでのやり方を変える」とは？  
サプライチェーンマネジメント（倫理的サプライチェーン）、倫理的貿易
- 従来のコストベネフィット分析ではカバーできない「倫理性」「責任」をどう取り込むのか
- 消費者は**transform**できるのか？  
過消費、食糧廃棄、バーチャルウォーター、CO2フットプリント、倫理的消費
- 環境と経済性と社会性の複合領域を誰が監視するのか？ → 企業と市民社会、政府・自治体と市民の協働の必要性

# 第⑧のアクター:消費者への期待

---

- **SDGsは窮乏生活を推奨しているのか？**
- **ようやく手に入れた「近代的」「便利」「快適」な生活を手放せと言われても、だれがそれに応じるのか？**
- **SDGsの主役は「私たち」でもある**

# SDGs時代の主役は誰か？

---

8つのアクターのどれか一つが主役なのではなく、複数のアクターを「組み合わせ」た**協働体**こそが主役である